

清里を持続可能な「ポップカルチャーの発信地」に

山梨県移住・二拠点生活に関する情報を発信する総合 WEB メディア『Y-charge』では、「やまなし」だからこそ叶えられる暮らし方、働き方を実現している人々をご紹介します。さまざまなストーリーの中から、今回は、デザイナーの中野シロウさんが取り組む、「清里駅前の再生」についてご紹介します。

「おもしろいことができそう」可能性を感じた清里

2020 年の冬に清里を訪れ、映画のセットのような駅前の風景に可能性を感じ移住を決めたという中野さん。駅前の物件 7 軒と廃屋化していた美術館を購入し、美術館は自身の作品を展示する「ミュージアムホテル」として 2024 年 12 月にオープン、さらに駅前のビルを改装し、アンティーク家具店や古着店も展開しています。

町の再生に取り組むのは初めてだという中野さん。職業柄、看板や店の外装などにデザインで貢献できると考えたそう。中野さんは、清里の魅力を「自然の美しさはもちろん、その人口規模や土地の広さ」と話します。「最初は物件をたくさん買うから怪しまれたみたいだけど（笑）。清里はおしゃべり好きな人が多くて、サービス精神が旺盛です」。



中野シロウ氏

クリエイターの力で描く 清里の新しい未来

清里を「デザイン的な町」と語る中野さん。今後の展望として、清里を「ポップカルチャーやデザインの発信地」にすることを目指していると言います。

今はまだ道半ばではありますが、「だからこそ楽しめる部分が多い」と中野さんは話します。「クリエイターが力を発揮できることもたくさんあるはず。清里は可能性がある町。その可能性を一緒に育てていける仲間を待っています」。

詳しい記事は
こちらから→



中野 シロウ（なか
の しろう）氏
キャラクターデザイナー

日清食品チキンラーメンのキャラクター「ひよこちゃん」をはじめ、多数のキャラクターデザインを手がける。2020 年冬に清里の町に惚れ込み移住。ミュージアムやホテル、アンティーク家具店、古着店などをオープンさせながら町の再生に取り組む。令和 7 年 4 月、山梨県の魅力や価値を高め、地域の活性化につなげることを目的に設置された「山梨県クリエイティブプロデューサー」に就任。

山梨県の様々な魅力をお届けする県
公式のブランド情報発信サイト
『ハイクオリティやまなし』はこちら
<https://hq.pref.yamanashi.jp/>

【主担当課】人口減少危機対策本部事務局人口減少危機対策課（TEL 055-223-1845）



YAMANASHI

※ 組織の枠を超えた部局横断チームを編成し、相乗効果や新たな価値を生み出すブランドプロモーションに取り組んでいます

【発行】山梨県地域ブランド推進 CFT（クロス・ファンクショナル・チーム ※）

（事務局）山梨県 新価値・地域創造推進局 新事業・地域ブランド課 TEL 055-223-1584